

第3回笠岡市総合計画審議会議事要点録

- 日 時：令和7年7月3日（木）14：30～17：15
- 場 所：笠岡市役所 第一会議室
- 出席委員：13名
小林会長，伊藤副会長，齋藤委員，藤井清委員，三島委員，仁井名委員，
松尾委員，杉本委員，襟立委員，秋田委員，木野内委員，高田委員，
藤井真委員，
- 欠席委員：1名 谷口委員
- オブザーバー：1名 山本市議（欠席：大山市議）
- 内 容：下記のとおり

1 副市長あいさつ

2 議 事

（1）第8次笠岡市総合計画について

基本計画（案）のうち，2-(1)-①「安全で健全な上下水道の管理運営」から，3-(1)-③「子育てを地域で見守り支えあうまちづくり」までについて，事務局から説明のうえ，審議を行った。

《質問・意見の要旨》

※誤字等に関する事項については省略

※意見については，総合計画に反映するかどうかなど継続検討

【全体】

会 長：新市長になっても継続性のある計画となるようにしてもらいたい。

【安全で健全な上下水道の管理運営】

委 員：水道・下水道の民間委託については。

担当部：慎重に検討していきたい。

委 員：水道管の老朽化割合は。

担当部：現在の耐震適合率＝約30%

委 員：福山市との連携を記載しては。

委員：経常比率の考え方について教えて欲しい。

担当課：(説明)

委員：SDGs14のマークの記載の意味は。

担当部：下水処理して海へという流れから。

委員：水道料金の値上げは。

担当課：当面20年の収支均衡維持。ただし、概ね5年間で見直しの検討

委員：前回の料金改定は。

担当課：平成10年

委員：高梁川から引いている水道は。

担当部：昭和47年完成なので、市と同じく注視が必要

【魅力的なまちづくりと定住促進】

委員：特化した笠岡市の魅力は。

担当課：情報発信力

委員：近場からの移住は。

担当課：圏域で大都市からの移住施策を実施

委員：市営住宅の入居率は。

担当課：約70%

委員：居住誘導区域はどこか。

担当課：駅周辺、番町など立地適正化計画により

委員：現在の空き家件数は。

担当課：約5,600軒

委員：外からの移住だけでなく、高校生の定住とかを考えてみては。

委員：老朽危険空き家の対策強化とフォローを。

委員：地域おこし協力隊の定住率は。

担当課：52.9%

委員：日本遺産による観光PRについては。

担当課：継続して魅力の発信を。

【道路・河川・漁港・港湾の適切な維持管理及び整備をするまち】

委員：バイパス完成後における住宅対策案は。

担当課：国・県が対策予定。市としても引き続いて要望

委員：バイパスの完成時期は。

担当課：令和7年度は西大島から道の駅まで、令和8年度は玉島から道の駅まで。

【市民の移動手段の確保】

委員：タクシーチケットについて

担当課：(説明)

委員：コミュニティバスやデマンド型交通の検討は。

担当課：以前あったが廃止

委員：居住地などによるタクシーチケットの配布枚数について

担当課：仕組みも変えていくなかで検討

委員：福山市に事業者がある場合のタクシーチケットの利用について

担当課：(制度説明)

委員：神島や大島における先進的な取組の統一は。

担当課：今後も地域の声を聞きながら地域が移動しやすい仕組みを検討

【快適な生活環境を守る】

委員：ゴミを減らす観点の促進もあった方がよいのでは。

担当部：(現状報告)

委員：グラフ(ゴミ総排出量)を分かりやすくして欲しい。

委員：ゴミ袋有料化について

担当部：未定、まずはゴミを減らすことから。

委員：コロナ禍、コロナ後におけるゴミ総排出量について

担当部：コロナ禍で家庭ゴミ増

委員：臭気アプリ報告件数について

担当課：啓発周知により意識が高くなったことで報告件数が増加

委員：上記について、件数ではなく日数に単位を変えた方が分かりやすいのでは。

委員：臭気対策(臭気シート)について

担当課：(説明)

委員：関連計画に臭気ロードマップの記載は。

担当課：計画という性質でないため記載なし

委員：バイオマス発電の拡大について

担当課：民間事業者であるため市としては難しい。

【安全・安心な暮らしと災害に強いまちづくり】

委員：消防団の合併について

担当部：今後検討

委員：「令和6年4月1日現在の団員数」は不要では。

委員：ヘルメット着用率を目標に入れてはどうか。

担当課：まずは高校生を重点的に推進したい。

委員：城見地区自主防災組織の実状について

委員：防災活動における学校等との連携について

担当部：神島外小学校など事例あり

【地域コミュニティの充実と広域連携の推進】

委員：グラフに説明があった方が良い。

【すべてのこどもの成長を支える環境づくり】

委員：定員を満たしていない認定こども園は。

担当部：多めに定員を設定しているため、すべて定員以下

委員：「待機児童ゼロは発生しておらず」を「待機児童は発生しておらず」に。

委員：民間と協力する計画を立案されてはどうか。

委員：発達障害のこどもに対する対応について

担当部：適正な利用ができるよう対応

委員：放課後児童クラブの指導者の育成等について

担当課：支援員の研修会を年一回は実施。課題として認識しており引き続き。

委員：地域全体で子育てを支援するようにしたいということが現実、割と難しい。

担当部：こどもたちは地域の宝であり、地域で子育てということ無くしてはならない。

委員：「障がい」という表現の統一を。

委員：合計特殊出生率を目標にできないのか。

担当課：総合戦略や人工フレームのところで議論を。

【安心して子育てをするための家庭支援】

委員：KPIの目標値が現状より下がっているが。

担当課：こどもの数が減少していることを踏まえて。

委員：KPIを率で記載してはどうか。

委員：子育て家庭が参加しやすい地域行事とは。

担当課：夏祭りなどを想定しているが、土日行事の参加が塾などで難しくなっている。

委員：男性の育児休業取得については。

担当課：まだまだ少ないが、右肩上がりに増えている。

委員：子育て家庭の地域行事へ参加者増について

担当課：周知の部分で協力とか連携を。

委員：子育て応援情報について、読みやすいように記載方法の検討を。

委員：「共働き世帯が増加傾向にあって仕事と家庭の両立が求められています」というのが、課題なのかどうか違和感

委員：上記回答に対する「地域全体で子育て家庭を支えていくという意識の醸成が必要」についても違和感

3 その他

次回審議会の日程連絡